

昭和44年度牧野草地関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和44年度牧野草地関係除草剤の試験成績検討会が、昭和45年2月25日当協会会議室において開催された。

ここに、その結果の概要を紹介する。

(1) 供試除草剤

昭和44年度牧野草地関係除草剤の供試薬剤は〈第1表〉の通りである。このうち、1薬剤

は新薬剤(※印)である。

(2) 試験結果の概要

次に、試験結果の概要を判定規準によってみると、〈第2表〉の通りで、実用化に移されたものは2薬剤である。

実用化薬剤の使用基準は、〈第3表〉の通りである。

〈第1表〉 供 試 薬 剤 成 分 一 覧 表

薬 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	委 託 メーカー
※ M & B 9 0 5 7	液	メチル4-アミノベンゼンスルフォニル カーバメイト 40%	塩 野 義 製 薬
D B N (カソロン)	粒	2,6-ジクロロベンゾニトリル 7%	北興化学工業 クミアイ化学工業

〈第2表〉 実 用 化 判 定 表

区 分	実 用 化	実 ~ 継	継 続	継 ?	中 止
牧 野 草 地	M & B 9 0 5 7 D B N	—	—	—	—

〈第3表〉 実 用 化 薬 剤 使 用 基 準 一 覧 表

薬 剤 名	処 理 方 法	処 理 時 期 ・ 回 数	使 用 量 (製品/10a)	対 象	使 用 上 の 注 意
M & B 9 0 5 7	全 面 処 理	秋~春(9~5月) ギンギン展葉時1~2回	500~600cc	ギンギン類・ キク科	・展着剤を加用して散布する。
	局 部 処 理 群生地処理	ワラビ展開期 早春~秋(1~11月)	500~1500cc 1250cc以上	ワラビ ギンギン類・ キク科	・750cc以上散布すると茎葉部が変色するが間もなく回復する。
D B N	全 面 処 理 (均一散布)	出芽展葉時	5Kg	ヤブガラシ・ ギンギン・ヨモギ	・雑草が大きくなると効果が劣るので発生初期に散布する。
	局 部 処 理	同 上	1~2g (1株当り)		・土壌が乾燥すると効果が劣る。